

# 加工・業務用キャベツの栽培法

～外食・中食向けキャベツの安定した出荷に向けて～

外食や中食（コンビニ弁当等）で使われるキャベツは、かたく締まる<sup>ひんたま</sup>寒玉系キャベツが求められており、温暖な千葉県には、11月～6月の出荷が期待されています。4月～5月に出荷する栽培では冬の寒い時期を越す栽培となるため、安定出荷が難しい時期です。そこで、栽培方法を使い分けることで、寒玉系キャベツを11月～6月まで継続的に出荷できる技術を開発しました。

国内のキャベツ流通量の半分以上は加工・業務用であるといわれています。その多くは、かたく締まっていることで、せん切りの際に切り易く、形が崩れにくい寒玉系キャベツです。



外食・中食では多くのキャベツが使われています



かたくしまった寒玉系（左）と春系（右）

## 1 成果の内容

栽培方法を使い分けることで、11月～6月の長期間、継続的に出荷することができます。

### (1) 11月～4月上旬どりは、夏まき露地栽培

生育期間が違ふ品種を8月に種まきすることで、長期間継続して収穫します。

### (2) 4月中旬～5月中旬どりは、秋まきトンネル栽培、秋まきべたがけ栽培

10月～11月に種まきし、トンネルやべたがけ（不織布で植物体に直接被覆）で保温することで、商品性を損なう花芽ができるのを遅らせて収穫します。

### (3) 5月下旬～6月どりは、秋/春まき露地栽培

生育の早い品種を10月中旬～11月中旬に種まきし、5月下旬～6月前半に収穫します。また、玉が大きくなっても割れにくい品種を1月中旬に種まきし、6月後半に収穫します。

作型	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
夏まき露地栽培	●●▲▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秋まきトンネル栽培	—	—	—	●	—	—	▲	〰〰〰〰	—	■	—
秋まきべたがけ栽培	—	—	●	▲	—	—	—	〰〰〰〰	—	—	■
秋/春まき露地栽培	—	—	●●▲	—	—	—	●	—	▲	—	■

凡例 ●：種まき、▲：定植、〰：被覆、■：収穫

## 2 普及の状況

千葉、<sup>かいそう</sup>海匠、君津地域を中心に100ha以上で加工・業務用キャベツが栽培されています。

3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター 東総野菜研究室 0479-57-4150

4 掲載年月 平成30年1月（令和5年11月更新）